



TSAG 副議長（新任）

日本電気株式会社

ながぬま みほ
永沼 美保

〈プロフィール〉

専門領域：情報・サイバーセキュリティ、プライバシー、デジタルトラスト領域（AI倫理、AIガバナンス等）
ルール形成活動（標準化含む）等

2004年 ITU-T SG17に参画（2008年～ラポータ）

2014年 ITU-D SG2に参画（ラポータ）

2018年 ITU-T TSAGに参画（2021年～ラポータ）

2022年 ITU-T TSAG副議長に就任

—— 先のWTSA-20での選出そしてご就任おめでとうございます。今回、副議長に任命されたことについて率直なお気持ちをお聞かせください。

永沼 アジア・太平洋地域、また、日本からの副議長として選出いただき、大変身の引き締まる思いです。同時に、TSAGはSGとは違った難しさや面白さがあり、新たな視点を持って活動していくことを楽しみにしています。

—— ご担当事項（ご専門領域）とご経歴、ITU（SG）との係わり（年数など）、その他の標準化機関での活動などを教えてください。

永沼 標準化は、2002年から関わっています。セキュリティを中心に、ISOで活動を開始し、2004年からはITUへも参加しました。ITUでは、ITU-Tの複数のSG/TSAG、ITU-D、総会やイベントに参加してきました。そのほか、APT（ASTAP）、ETSIや国内外の業界団体等でも活動しています。

—— 次研究会期におけるご担当の研究委員会の最重要テーマ・課題はどのような事とお考えでしょうか。

永沼 WTSA-24に向けたSG再編が最重要テーマとなります。

—— 副議長としての抱負をお聞かせください。どのようなところに力点を置いて活動されるご予定でしょうか。

永沼 副議長、また、マネジメントチームの一員としての中立性を保ちつつ、SG再編に関連する議論をリードしていくことが重要と考えています。

—— 副議長としての難しさや障壁はどのようなものが想定されるでしょうか。また、そうしたことへの対処方法はどうかお考えでしょうか。

永沼 どんなに直前にシミュレーションしても、そのとおりにはならないのがTSAGの議論。多様な意見、予想外・想定内の意見……、それらを聞く力や方向性を決める判断力を磨いていくためには、やはり十分な準備や調整の実践が必要と考えています。

—— ポストコロナのTSAGの活動はどうなっていくと思われますか。また、どのようにしたいとお考えでしょうか。

永沼 定期的な会合は物理会議、中間会合等はリモート活用の促進となると思います。リモートは継続されますが、意思決定には物理開催が必要となりますので、よりメリハリをつけ、双方を有効に活用していくつもりです。

—— 我が国、各加盟国の政府関係やICT産業界からの理解や協力についての期待をお聞かせください。

永沼 TSAGでは、産業界の関与強化は大きなテーマの一つです。世の中のニーズを捉え、ITU-Tの活動に適時に反映させていくための議論はより重要になっています。私自身もセクターメンバーでもあり、政府関係者・産業界の皆様とも是非本テーマを共有し、議論を深めていきたいと思っています。

—— 最後に、個人の信条や、プライベートな時間でのご趣味などをお聞かせください。

永沼 多様性促進を実感する機会も増えており、個人の尊重を大事にしています。

—— 読者へのメッセージをお願いいたします。

永沼 大きなチャレンジとなりますが、WTSA-24に向けて尽力いたします。どうぞよろしく願いいたします。

【読者のための豆知識】

TSAG（電気通信標準化アドバイザリグループ）の活動内容：ITU-Tの活動の作業方法、優先事項、計画